

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	Farmer'まま
取組	地域女性グループの活動支援
構成員数	7名(うち、女性の人数:7名) (令和年5月9日時点)

1 事業実施方針

朝夕の寒暖差から生まれる濃厚なぶどうが栽培できる恵まれた環境にある山梨県山梨市牧丘町は、山梨県内でもぶどうの栽培が盛んな山梨県峡東地域に含まれます。昨年度の事業実施方針にも上げましたが、確実に過疎化が迫ってきています。

廃校利用合併協議会やPTAの会議に出席する中で、中牧地区という区分けがある地域内ではありますが、新生児の誕生が2020年3人、2021年度は1名であったという知らなかった情報を知ることが出来ました。また、2015年に4校が合併した小学校の入学児童も2020年35人、2021年19人、2022年13人、2023年23人2024年8名と極端に減ってしまうという事実もある中で、更なる学校の合併の話が浮上していることも知ることが出来ました。農地を受け継ぐ方がおらず、作り手を探すも見つからない園の話も耳にする様になり、このままでは、畑を受け継ぎ営農する方が減り、ぶどうの産地を維持することが出来なくなってしまうとします。

Farmer's ままとして地域の為に何かできることはないかを更を考える様になりました。主人と縁がありこの地域に定住することになり始めた農業です。Farmer's ままメンバー全員が、私と同様にこの地に嫁ぎ農家を始めました。昨年の事業実施方針の内容は、嫁いできた女性の農業者でグループを作り協力し合うことで、女性達に興味を抱いてもらい、今後の担い手となり活動してもらい、地域活性化を目指すことを盛り込みました。今年度は更に活発に取り組みを実施していきたいと考えております。

まずは、空き家、古民家を利用して頂けるように積極的にお声掛けをさせて頂き、2023年度迄には借りることが出来る状況を作り出したいと考えております。そこでは、6次化産業に取り組めるように保健所の審査が下りた調理場としてリフォームをさせて頂くことをお願いし、加工品の製造販売を実施していく。また、地域の先輩農業者にもご協力いただき、昔ながらのこんにやく作りやお味噌作りなどが途絶えてしまわないようにワークショップなどを開催し、作り方を継承したいと考えています。また、マルシェなどを開催し、地域の女性農業者の方々が持っている知識や特技を生かす場の提供をしていきたいと考えています。これらの活動を通して農家は楽しいを実践し、女性の力で楽しく稼げる農業の仕組みを構築し、繋がる笑顔、繋がる未来、繋がる農業にしていきたいと考えております。女性の笑顔は、家庭も地域も明るくし、楽しそうに和気あいあいと活動をしていると自然と興味を持ってもらえる様になるのではないかと考えております。現状、牧丘には住まず、少し離れた交通の便や買い物の利便性、同居をせずに、居住地を少し都会に移す世帯が増えています。私達に活動を通して、これならば牧丘に住むことも良いかもしれないとお嫁さん達に思ってもらえるような活動をしていきたいとも考えています。

今でき得る具体的な行動としましては、昨年度からの引き続き、活動の様子をSNSにて発信し、活動内容に興味を持ってくれた新規女性農業者の確保に取り組んでいきます。また、先輩女性農業者の方々の取り組み事例を学び、見学をさせて頂き、私達の取り組みの参考にさせて頂く機会

を今年度も積極的に持っていきたいと考えています。

地域の女性農業従事者とのコミュニケーションを図るために、農閑期においては、地域の公民館を活用させて頂きミーティングを開催、農繁期は、ZOOMを活用し1週間に1度のミーティングを重ねていき、それぞれの農園が抱えている悩みなどを共有し、グループ内での協力体制を整え、永続的に農業経営が継続できる仕組み作りをしていきます。

昨年度より活動の基盤として取り組んでいる6次化産業の取り組みにつきましては、加工技術の向上の為に試作品作りを重ね、ふるさと納税の商品としての提供が出来るところまで目標としています。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

2020年1月より結婚を機に農業に従事した女性農業者と6次化産業に向けた事業を立ち上げる為に5名の女性農業者と取り組みを実施しております。2021年度は2名メンバーを増やすことが出来ました。

代表渡辺真由美、副代表廣瀬絵美、会計市川美代子、会員荻原早智子、藤科侑絵、武藤浩美、倉田里恵の女性7名になります。

県の農業技術課、また活動を通して繋がる事が出来ました関東農政局山梨拠点、峡東農務事務所、山梨市地域資源開発課の方々と連携を図りながら女性農業者の方々の活躍できる場作り、私達の活動に興味を持ってくれた方の受け入れを継続して実施していきたいと考えています。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取り組み)		
1) SNSによる情報発信	月2回活動の様子をSNSにアップする(2021年度)	
(今後の取り組み)		
1) SNSによる情報発信の継続	1) 週1回の活動の様子をSNSにアップする(目標)	
2) 新規女性農業者の確保	2) 女性2名(目標)	
3) 新規女性農業者と共に研修	3) 年間1回	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取り組み) 1) ZOOM を利用した定例のミーティング 2) 総会への参加を促す	1) 週 1 回開催 (2021 年度) 2) 10 月に開催 (2021 年度)	
(今後の取り組み) 1) ZOOM を利用した定例のミーティング 2) 総会への参加を促す 3) 商品動向を調査の為のマルシェへの参加	1) 週 1 回開催 (目標、繁忙期は 2 週間に 1 回の開催もあります) 2) 年 1 回 (目標) 3) マルシェへの 2 回参加 (目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取り組み) 1) ZOOM を利用した定例のミーティング 2) マーケティングの勉強会 3) 女性が活動しやすい環境作りの構築 現状参加できない仲間への状況確認とコミュニケーションの為の連絡 4) 巨峰を用いた加工品の試作	1) 週 1 回開催 (2021 年度) 2) 月に 1~2 回 (2021 年度 1 月、2 月) 3) 3 ヶ月に 1 度 (2021 年度 5 月、10 月、1 月) 繁忙期を除く 4) 2021 年度 12 月、1 月、2 月	
(今後の取り組み) 1) ZOOM を利用した定例のミーティング 2) マーケティングの勉強会 3) 女性が活動しやすい環境作りの構築 現状参加できない仲間への状況確認とコミュニケーションの為の連絡	1) 週 1 回開催 (目標、繁忙期は 2 週間に 1 回の開催もあります) 2) 1 月~2 月に掛けて 2 回~4 回 (目標) 3) 3 カ月に 1 度 (目標)	

4) 巨峰を用いた加工品の試作	4) 4月、11月、12月(目標)	
5) マルシェへ参加し商品動向を分析する	5) 12月、1月(目標)	
6) 廃校利用の協議会への参加と市への協力要請など積極的に参加	6) 協議会開催日は参加(目標)	
7) 地域の農協女性部を管轄している農協の担当の方へ話を伺いに行く	7) 4月もしくは5月(目標)	
8) Farmer's ままへの新規女性農業者の参加への積極的な声かけ	8) 随時(目標)	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容(対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	農産加工品の新規商品の開発から販売までの流れが不明瞭な点がある。
②	Farmer'ままの認知度がない。
③	マーケティングの知識不足。
④	加工品について、お客様の御意見を伺う機会を作る。
⑤	

【課題解決のための補助事業(概要)】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	女性グループの方が運営している加工施設を視察に行く。
②	ホームページの作成を実施する。
③	マーケティングの勉強会をコンサルの方へお願いする。
④	補助事業期間内で2回マルシェへの参加をする。
⑤	加工品についてのアンケートを50名の方にもらう。

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	商品開発から販売までの流れを学び、Farmer'ままでの活動に取り入れさせていただきジャム、コンポートの販売場所を確保し、売上 50 万円を目指す。
②	ホームページの作成に向け、どの様なサイトにするか、見本としたいサイトを検索し見付ける。
③	視察もコンサルの方に同行して頂き、マーケティングを絡めた学びとなるようにする。
④	お客様と触れ合える機会、直接お話が出来る機会を設ける。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2023 年 1 月～2 月	対象者:運営委員 4 人とグループメンバーの希望者 加工施設の見学	旅費 40,338 円	
①	2022 年 9 月～2023 年 2 月	対象者:運営委員 4 人とグループメンバーの希望者 6 次化に向けてジャムの試作、ラベル作成、マルシェ参加	役務費 19,091 円 消耗品 23,724 円	
②	2022 年 8 月～2023 年 2 月	認知度をアップさせるためにホームページの作成をする	役務費 340,000 円	
③	2022 年 10 月～2023 年 2 月	対象者:運営委員 4 人とグループメンバーの希望者 マーケティング勉強会	謝金 100,000 円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの女性農業者の新規確保人数	2 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 2 人、雇用就農者	人、アルバイト・ボランティア等 人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。